

東北大学大学院情報科学研究科「シンポジウム開催支援経費」報告書

開催主催者	第5回離散数学とその応用に関する 洪日シンポジウム実行委員会	開催責任 者 連絡先	情報科学研究科 徳山豪
シンポジウムの タイトル	<p>(和文) 第5回離散数学とその応用に関する洪日シンポジウム</p> <p>(英文) The 5th Hungarian-Japanese Symposium on Discrete Mathematics and Its Applications</p>		
開催期間	平成19年4月3日～4月5日 (3日間)	開催場所	東北大学片平キャンパス さくらホール
シンポジウムの 内容	<p>「離散数学とその応用に関する洪日シンポジウム」は1年おきに両国で交互に開催することになっており、第1回は平成11年3月に京都、第2回は平成13年4月にブタペスト、第3回は平成15年1月に東京、第4回は平成17年6月にブダペストにおいてそれぞれ開催された。</p> <p>今回の第5回は上記のように平成19年4月3日から4月5日の期間、東北大学さくらホールにおいて申請者である徳山豪を実行委員長として開催された。ハンガリー国からは、Recski教授とFrank教授をはじめ、この分野の権威と若手を合わせ25名の参加があった。会議期間中に、招待講演12件、一般講演33件が行われ、講演者と聴衆の間で活発な意見交換がなされた。</p> <p>本会議のテーマである「離散数学とその応用」は情報科学研究科の複数の研究室・教員の研究テーマとなっており、情報科学研究科からも9名の教員の参加があった。</p>		
参加者数	84名程度、うち25名はハンガリーからの参加者		
経費の 使用目的	ハンガリー側参加者の旅費の一部 詳細は別紙参照		